



# 二級河川与保呂川における 魚道等整備について



京都府中丹東土木事務所

# 1. 与保呂川の概要



## 2. 与保呂川の現状と課題

### 1) 与保呂川の現状

昭和28年の出水により甚大な被害を受け、改修が行われ現在に至っている。  
改修以降、大きな被災は無く、治水安全度は確保されている。

### 2) 与保呂川の課題

改修から50年以上経過し、護岸や水叩等の施設が老朽化。  
落差工の影響、支流の合流の影響から土砂が堆積しやすい。  
落差工により魚の遡上が不可能となっている。  
親水性が低い。

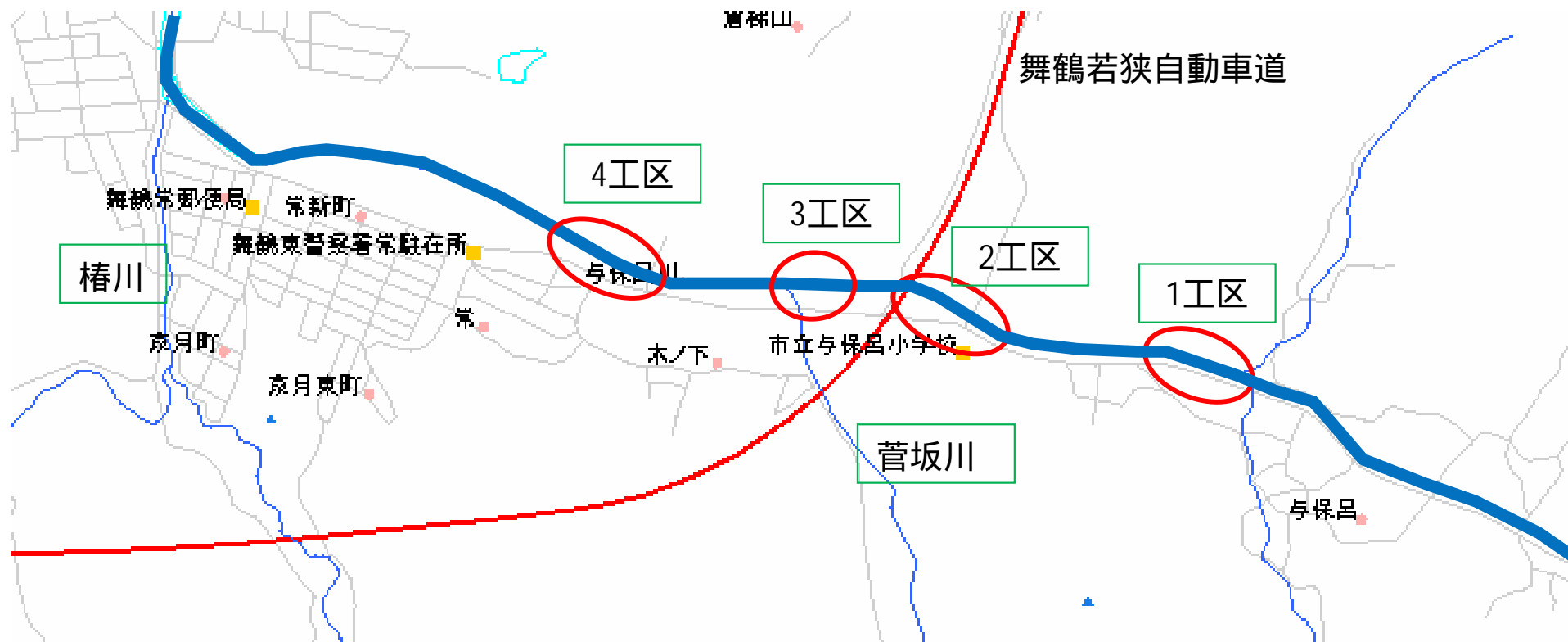


落差工の老朽化  
落差工により魚の遡上が不可能



土砂の堆積、アシの繁茂、疎通  
能力を阻害し、親水性が低い

### 3. 取り組み状況について



平成15年度より、椿川合流点から上流で4工区に分割し親水性の高い川づくりに取り組んでおり、内3工区が完成し、現在第4工区の計画策定を行っているところである。

各工区の計画策定にあたってはワークショップを活用し住民意見の計画への反映を行っている。

また、工区外においても施設の補修工事とあわせて魚道を設け、生態系の連続性の確保を図っている。

# 3. 取り組み状況について

## ワークショップで出された主な意見



- ・四阿、ベンチを設けて欲しい
- ・ホタルの住める環境を保持して欲しい
- ・魚道を設けて欲しい。
- ・水遊びができる場所をつかって欲しい。
- ・階段や飛石を設けて欲しい。
- ・水の流れが悪くなり、景観が悪いのでアシを除去して欲しい。
- ・水質浄化やホタルのためにアシを残して欲しい。
- ・プールやウォータースライダーをつかって欲しい。

etc



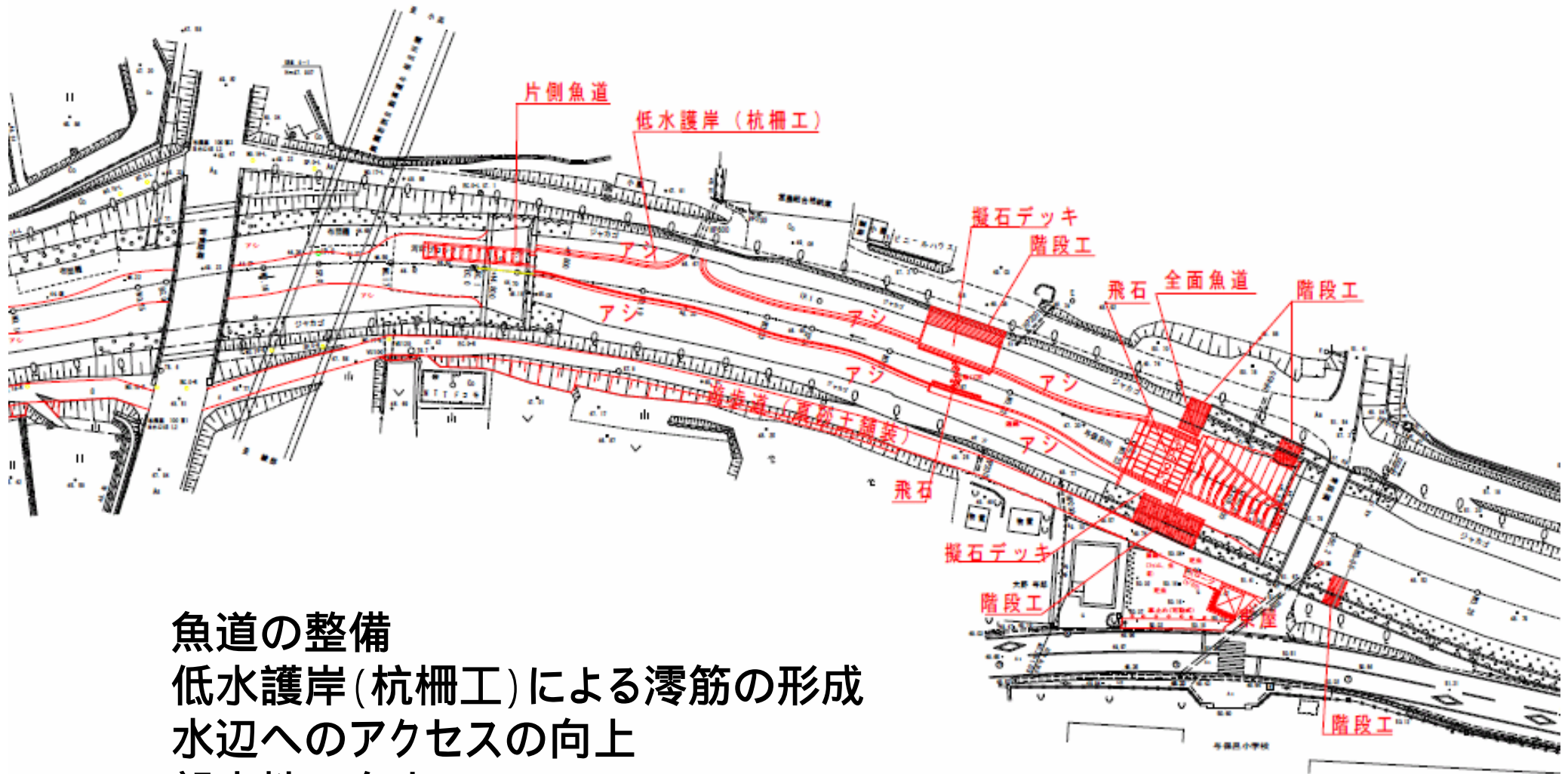
ワークショップの開催状況

# 3. 取り組み状況について



# 3. 取り組み状況について

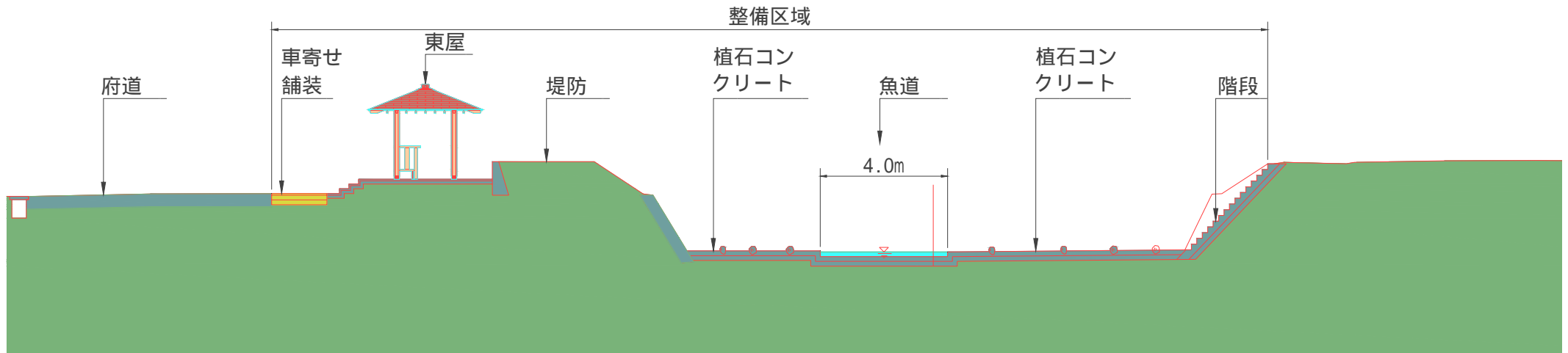
## 第2工区 計画平面図



魚道の整備  
低水護岸(杭柵工)による滞筋の形成  
水辺へのアクセスの向上  
親水性の向上

# 3. 取り組み状況について

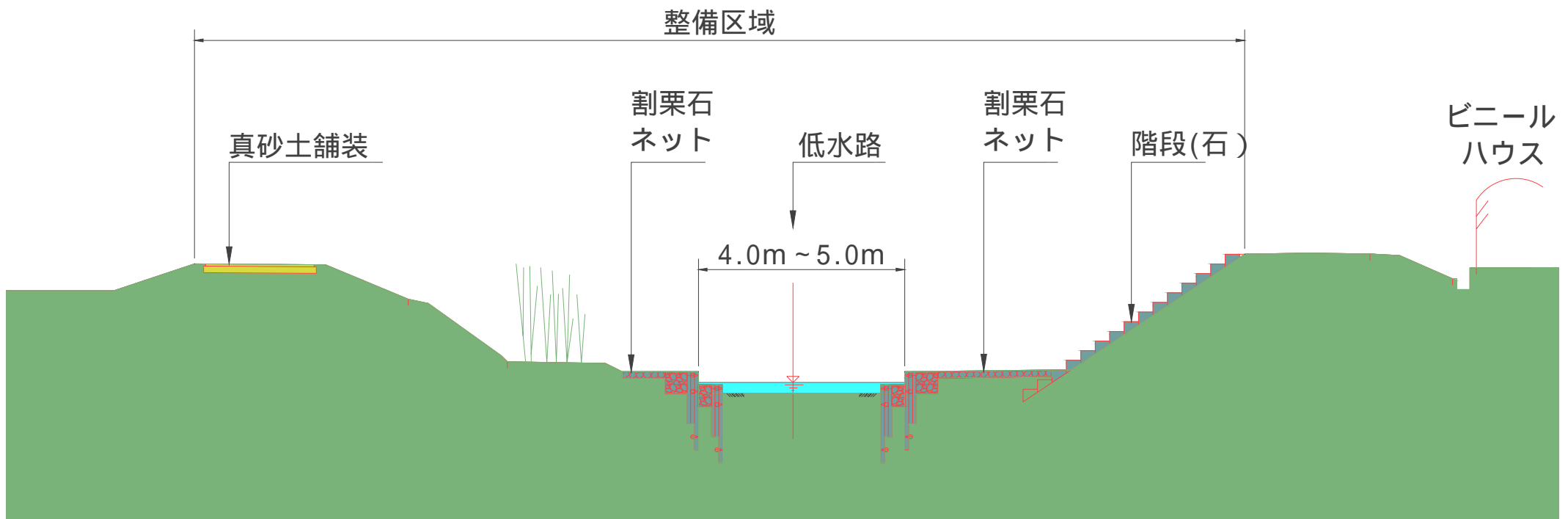
## 魚道部 標準横断面図





# 3. 取り組み状況について

## 一般部 標準横断面図



# 3. 取り組み状況について

## 第2工区の整備状況



魚道の整備  
親水性の向上

## 4. 府民参画について



地元小学生による環境学習及び  
工事見学会



小学生が描いた河川愛護ポスター  
を看板にして設置

## 5. 整備の効果について



魚道・親水施設で遊ぶ子供達



地域住民による清掃活動

## 6. おわりに

与保呂川は古くより、自然豊かな川として、人々に親しまれている川であるが、一方で施設の老朽化、土砂の堆積、アシの繁茂、水辺へのアクセスが無いなどの課題があった。

事業の取り組みにより、老朽化施設の補修、親水性の向上、魚道の整備や府内産間伐材を活用した低水護岸による澁筋の形成など「治水」「利用」「環境」の3要素のバランスのとれた川づくりを行うことができた。

椿川合流点まではアユの遡上が確認されており、今後の魚道を整備することで、さらなる生態系の連続性の確保が期待できる。

## 6. おわりに

ワークショップや環境学習、工事見学会を活用することで、河川愛護や川への親しみの向上に繋がり、地域住民と協働した維持管理が期待できる。

今年度も第4工区のワークショップによる計画策定を行っているところであるが、『与保呂小学校の校歌の中に「与保呂の流れ 水すみて八千草かおる 岸のべに・・・」とあるように、美しく皆さんに親しまれる川となるように』との地元の方の強い思いを受け、今後も末永く親しまれる川づくりに取り組んで行きたい。